



出港する佐賀明神丸

佐賀明神丸出港

今シーズンのカツオ一本釣り漁のスタートに向け、2月10日(月)、カツオ一本釣り漁船が佐賀港を出港しました。

同日に出港したのは、昨シーズン、カツオ一本釣りの水揚げ高で日本3位となった第83佐賀明神丸と、同じく日本4位となった第88佐賀明神丸の2隻。

荷物の積み込みを行い、明神水産本社で出発前の神事が行われた後、船員らは港に集まった家族や友人らの「たくさん釣って来てよ」、「体に気を付けて頑張ってるね」など、激励の言葉に送られながら出港しました。



野鳥を観察する参加者ら

冬の野鳥観察会2025

2月8日(土)と15日(土)に、NPO砂浜美術館主催の「冬の野鳥観察会2025」が開催されました。

同イベントは、身近な自然に生きる野鳥の世界を感じ、楽しんでもらいたいという思いで開催され、今年で8回目。

2月15日(土)の回では、約30人の参加者が森富美男さんと森隆秀さんの案内で、ピオスおおがたから松原周辺を散策。カワウやインビヨドリなど、3種類の野鳥を見ることができました。

土佐清水市から参加した中村千恵子さんは、「黒潮町で参加するのは初めて。子どもたちと一緒に楽しめて嬉しかった。自然のなかでのんびり見られたし、知り合いもできて良かった。来年もまた来たい」と話しました。



つぼめきを見学する生徒たち

佐賀中で魚の料理教室

1月29日(水)、佐賀中学校で魚の栄養と調理方法について学ぶ教室が行われました。食生活改善推進員(食改さん)から、魚に含まれる豊富な栄養成分について説明を受け、調理実習としてアジの煮付け作りに取り組みました。魚の腹を切らずに、えらと内臓を口から抜き出す「つぼめき」という下ごしらえを見学。興味津々な生徒は「やってみたい」と早速挑戦していました。そのほか、具材たっぷりの豆乳スープやもやしのチーズ焼きなどをみんなで分担して調理しました。

魚が苦手でも煮付けにすると食べられた生徒や、骨をうまく取りながらキレイに食べる生徒もいて、「つぼめきをまたやってみたい」、「家でも作りたい」などの感想を、食改さんも笑顔で聞いていました。



入野海岸を走る参加者ら

ネスト・ウエストガーデン土佐で「KUJIRUN」モニターツアー実施

1月24日(金)・25日(土)の2日間、ネスト・ウエストガーデン土佐で1泊2日の観光プラン「KUJIRUN」のモニターツアーが実施されました。旅先でもランニングを楽しみたい健康志向の方やグループを対象にした同モニターツアーには、関係者ら約10人が参加し、入野海岸など、土佐西南大規模公園内を走りました。

モニターとして参加したGPSランナーの志水直樹さんは、「なかなかない経験ができた。砂浜がサラサラで、安心してはだしになって一緒に参加した仲間たちと楽しむことができた」と話しました。